

【広島市消費者物価指数】

1 平成23年10月の動向

- 広島市総合指数（100.2）は前月比で2か月連続同水準。前年同月比は同水準。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.0）は前月比で同水準。前年同月比も同水準。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.3）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比も2か月連続の下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.2	0.0	0.0
生鮮食品を除く総合指数	100.0	0.0	0.0
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.3	▲0.2	▲0.5

3 前月からの動き

～食料は上昇，教養娯楽，家具・家事用品は下落。～

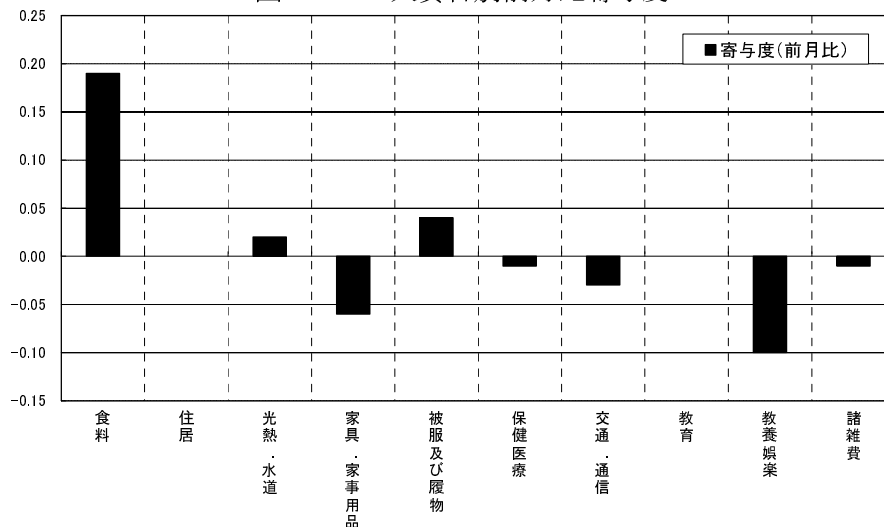
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.2	100.9	99.4	104.5	96.3	104.3	99.2	100.4	98.2	96.2	103.4
前月比 (%)	0.0	0.8	0.0	0.3	▲1.7	0.9	▲0.2	▲0.2	0.0	▲0.9	▲0.2
寄与度	0.0	0.19	0.00	0.02	▲0.06	0.04	▲0.01	▲0.03	0.00	▲0.10	▲0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目

食 料：野 菜 ・ 海 藻（前月比 4.9%，寄与度 0.14）等
 教 養 娯 楽：教養娯楽サービス（前月比 ▲0.8%，寄与度 ▲0.05）等
 家具・家事用品：家庭用耐久財（前月比 ▲5.2%，寄与度 ▲0.08）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に，各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
野菜・海藻（はくさい 等）	4.9%	家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	▲5.2%
調理食品（すし[弁当] 等）	2.5%	魚介類（さんま 等）	▲2.2%
他の被服類（マフラー 等）	8.3%	教養娯楽サービス（外国パック旅行 等）	▲0.8%
肉類（牛肉[国産品] 等）	1.3%	教養娯楽用耐久財（テレビ 等）	▲2.0%
電気代（電気代 等）	0.7%	果物（ぶどう[巨峰] 等）	▲1.8%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道、交通・通信が上昇し、教養娯楽が下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.0	▲ 0.4	▲ 0.4	3.6	▲ 1.0	1.4	▲ 1.2	1.0	▲ 0.2	▲ 1.7	▲ 0.4
寄与度	0.0	▲ 0.10	▲ 0.08	0.27	▲ 0.04	0.06	▲ 0.06	0.13	▲ 0.01	▲ 0.19	▲ 0.03

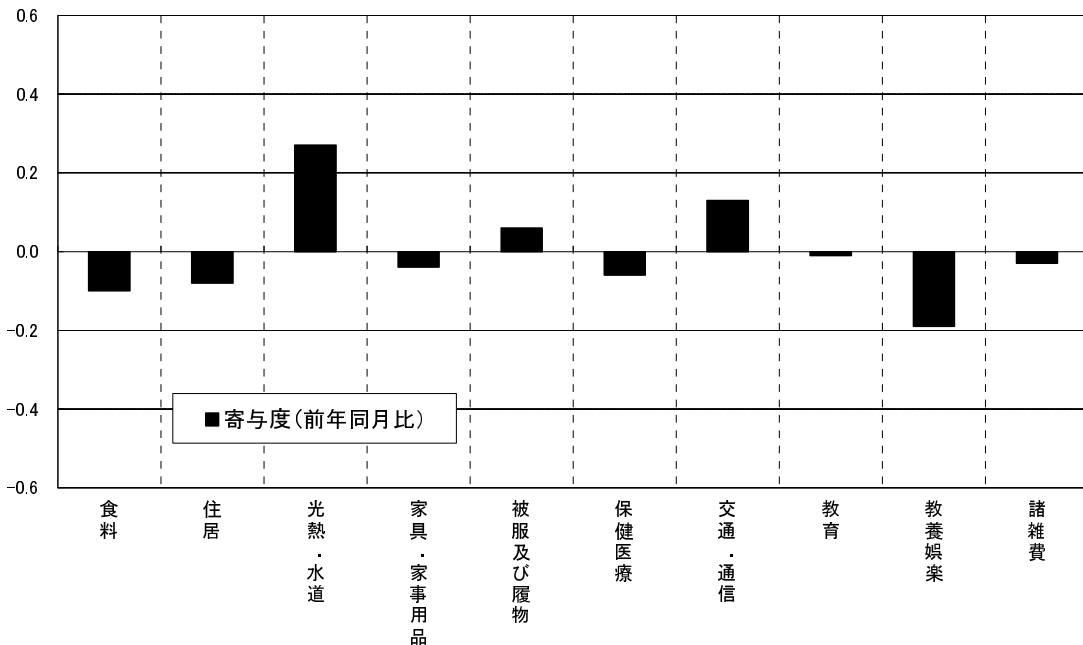
(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道：電 気 代（前年同月比 4.7%，寄与度 0.17）等

交通通信：自動車等関係費（前年同月比 2.1%，寄与度 0.15）等

教養娯楽：教養娯楽用耐久財（前年同月比 ▲11.9%，寄与度 ▲0.22）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
電気代（電気代 等）	4.7%	教養娯楽用耐久財（ビデオレコーダー 等）	▲11.9%
自動車等関係費（ガソリン 等）	2.1%	家庭用耐久財（電気冷蔵庫 等）	▲7.0%
教養娯楽サービス（外国パック旅行 等）	1.1%	果物（みかん 等）	▲10.1%
ガス代（都市ガス代 等）	3.3%	家賃（持家の帰属家賃 等）	▲0.5%
寝具類（布団 等）	20.8%	教養娯楽用品（トレーニングパンツ 等）	▲2.3%